ストレージアレイ
SANtricity 11.8

NetApp
December 16, 2024

目次

ストレージアレイ

検出の概要

ストレージリソースを管理するには、まずネットワーク内のストレージアレイを検出する必要があります。

アレイの検出方法

[追加/検出]ページを使用して、組織のネットワークから管理するストレージアレイを検索して追加します。複数のアレイを検出することも、単一のアレイを検出することもできます。そのためには、ネットワークIPアドレスを入力すると、Unified Managerはその範囲内の各IPアドレスへの接続を個別に試行します。

詳細：

- "アレイの検出に関する考慮事項"
- "複数のストレージアレイの検出"
- "単一のアレイの検出"

アレイの管理方法

アレイを検出したら、* Manage-All *ページに移動します。このページでは、ネットワーク内で検出されたストレージアレイのリストをスクロールしてステータスを表示し、単一のアレイまたはアレイのグループに対して処理を実行できます。

単一のアレイを管理する場合は、アレイを選択してSystem Managerを開くことができます。

詳細：

- "System Managerへのアクセスに関する考慮事項"
- "個 々 のストレージアレイの管理"
- "ストレージアレイのステータスの表示"

概念

アレイの検出に関する考慮事項

Unified Managerでストレージリソースを表示および管理するには、組織のネットワークで管理するストレージアレイを検出する必要があります。複数のアレイを検出することも、単一のアレイを検出することもできます。

複数のストレージアレイの検出

複数のアレイを検出する場合は、ネットワークIPアドレスの範囲を入力すると、その範囲の各IPアドレスへの接続がUnified Managerで個別に試行されます。到達したストレージアレイが検出ページに表示され、管理ドメインに追加されることがあります。

単一のストレージアレイの検出

単一のアレイを検出する場合は、ストレージアレイ内のいずれかのコントローラのIPアドレスを1つ入力すると、個 々 のストレージアレイが追加されます。

Unified Managerは、あるコントローラに割り当てられている1つのIPアドレスまたは範囲内のIPアドレスのみを検出して表示します。代替のコントローラまたはそれらのコントローラに割り当てられているIPアドレスがあっても、この1つのIPアドレスまたはIPアドレス範囲に含まれていなければ、Unified Managerでは検出または表示されません。ただし、ストレージアレイを追加すると、関連付けられているすべてのIPアドレスが検出されて[管理]ビューに表示されます。

ユーザクレデンシャル

検出プロセスでは、追加する各ストレージアレイの管理者パスワードを指定する必要があります。

Webサービスの証明書

検出プロセスでは、検出されたストレージアレイに信頼できるソースからの証明書があるかどうかがUnified Managerで確認されます。Unified Managerでは、ブラウザで確立するすべての接続に対して2種類の証明書ベースの認証を使用します。

- 信頼された証明書

  Unified Managerで検出されたアレイについては、認証局が発行する信頼された証明書が追加で必要となる場合があります。

  これらの証明書をインポートするには、* Import *ボタンを使用します。このアレイに前に接続したことがある場合は、一方または両方のコントローラの証明書が期限切れになっているか、失効しているか、証明書チェーンにルート証明書または中間証明書がない可能性があります。ストレージアレイの管理を開始する前に、期限切れまたは失効した証明書を差し替えるか、不足しているルート証明書または中間証明書を追加する必要があります。

- 自己署名証明書

  自己署名証明書を使用することもできます。署名済みの証明書をインポートせずにアレイを検出しようとすると、Unified Managerにエラーダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで自己署名証明書を承認することができます。自己署名証明書が信頼済みとしてマークされ、Unified Managerにストレージアレイが追加されます。

  ストレージアレイへの接続を信頼しない場合は、Unified Managerにストレージアレイを追加する前に* Cancel *を選択し、ストレージアレイのセキュリティ証明書戦略を検証します。

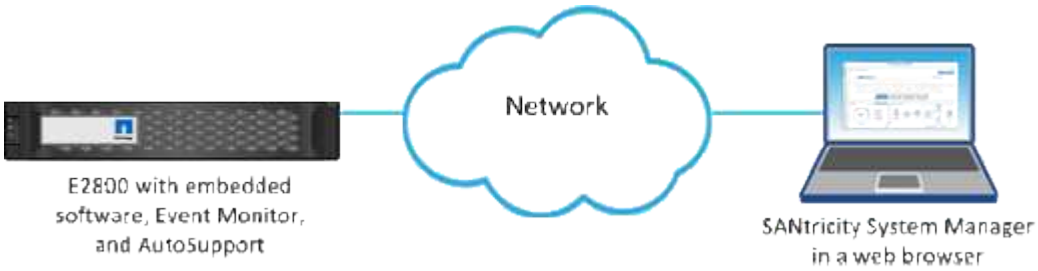
System Managerへのアクセスに関する考慮事項

ストレージアレイを設定および管理する場合は、1つ以上のストレージアレイを選択し、[起動]オプションを使用してSystem Managerを開きます。

System Managerはコントローラに組み込まれたアプリケーションで、イーサネット管理ポートを介してネットワークに接続されます。これには、アレイベースのすべての関数が含まれます。

System Managerにアクセスするには、以下を準備しておく必要があります。

- 次のいずれかのアレイモデルを参照してください。"E シリーズハードウェアの概要"
- Webブラウザを使用したネットワーク管理クライアントへのアウトオブバンド接続。



アレイの検出

複数のストレージアレイの検出

複数のアレイを検出すると、管理サーバが配置されているサブネット全体ですべてのストレージアレイが検出され、検出されたアレイが管理ドメインに自動的に追加されます。

開始する前に

- Security Adminの権限を含むユーザプロファイルでログインする必要があります。
- ストレージアレイが正しくセットアップおよび設定されている必要があります。
- ストレージアレイのパスワードは、System Managerの[アクセス管理]タイルを使用して設定する必要があります。
- 信頼されていない証明書を解決するには、認証局（CA）の信頼された証明書ファイルが必要です。証明書ファイルがローカルシステムにある必要があります。

アレイの検出は複数の手順で構成されます。

手順**1**：ネットワークアドレスを入力します

ローカルサブネットワーク全体を検索するには、ネットワークアドレス範囲を入力します。到達したストレージアレイが検出ページに表示され、管理ドメインに追加されることがあります。

何らかの理由で検出操作を停止する必要がある場合は、*検出の停止*をクリックします。

手順

1. [管理] ページで、 [* 追加 / 検出 *] を選択します。

   [Add/Discover]ダイアログボックスが表示されます。

2. [ネットワーク範囲内のすべてのストレージアレイを検出する]ラジオボタンを選択します。
3. 開始ネットワークアドレスと終了ネットワークアドレスを入力して、ローカルサブネットワーク全体を検索し、*検出の開始*をクリックします。

検出プロセスが開始されます。この検出プロセスが完了するまでに数分かかることがあります。ストレージアレイが検出されると、検出ページの表にデータが表示されます。

管理可能なアレイが検出されない場合は、ストレージアレイがネットワークに適切に接続されており、割り当てられたアドレスが範囲内にあることを確認してください。[新規検出パラメータ *] をクリックして、 [追加 / 検出] ページに戻ります。

4. 検出されたストレージアレイのリストを確認します。
5. 管理ドメインに追加するストレージアレイの横にあるチェックボックスをオンにし、[次へ]をクリックします。

   管理ドメインに追加する各アレイについて、Unified Managerでクレデンシャルのチェックが実行されます。そのアレイに関連付けられている自己署名証明書や信頼されていない証明書の解決が必要になる場合があります。

6. 「 * 次へ * 」をクリックして、ウィザードの次の手順に進みます。

手順**2**：検出時に自己署名証明書を解決する

検出プロセスでは、ストレージアレイに信頼できるソースからの証明書があるかどうかが確認されます。

手順

1. 次のいずれかを実行します。
   - 検出されたストレージアレイへの接続を信頼する場合は、ウィザードの次のカードに進みます。自己署名証明書が信頼済みとしてマークされ、ストレージアレイがUnified Managerに追加されます。
   - ストレージアレイへの接続を信頼しない場合は、*キャンセル*を選択し、各ストレージアレイのセキュリティ証明書戦略を検証してからUnified Managerに追加してください。
2. 「 * 次へ * 」をクリックして、ウィザードの次の手順に進みます。

手順**3**：検出時に信頼されていない証明書を解決する

信頼されていない証明書は、ストレージアレイからUnified Managerへのセキュアな接続を確立しようとしたときに、接続がセキュアであることを確認できない場合に発生します。アレイの検出プロセスで信頼されていない証明書を解決するには、信頼できるサードパーティが発行した認証局（CA）証明書（CA署名証明書）をインポートします。

信頼された追加のCA証明書のインストールが必要になる可能性があるのは、次のいずれかに該当する場合です。

- ストレージアレイを最近追加した。
- 一方または両方の証明書の期限が切れている。
- 一方または両方の証明書が失効している。
- 一方または両方の証明書のルート証明書または中間証明書がない。

手順

1. 信頼されていない証明書を解決するストレージアレイの横にあるチェックボックスをオンにして、[インポート]ボタンを選択します。

信頼された証明書ファイルをインポートするためのダイアログボックスが開きます。

2. Browse（参照）*をクリックして、ストレージアレイの証明書ファイルを選択します。

   ダイアログボックスにファイル名が表示されます。

3. [* インポート *] をクリックします。

   ファイルがアップロードされて検証されます。

   信頼されていない証明書の問題が未解決のストレージアレイはUnified Managerに追加されません。

4. 「 * 次へ * 」をクリックして、ウィザードの次の手順に進みます。

手順**4**：パスワードを入力する

管理ドメインに追加するストレージアレイのパスワードを入力する必要があります。

手順

1. Unified Managerに追加する各ストレージアレイのパスワードを入力します。
2. *オプション：*ストレージアレイをグループに関連付けます。ドロップダウンリストから、選択したストレージアレイを関連付ける目的のグループを選択します。
3. [完了] をクリックします。

終了後

ストレージアレイが管理ドメインに追加され、選択したグループ（指定されている場合）に関連付けられます。

指定したストレージアレイへのUnified Managerの接続には数分かかることがあります。

単一のアレイの検出

単一のストレージアレイを手動で検出して組織のネットワークに追加するには、[単一のストレージアレイの追加/検出]オプションを使用します。

開始する前に

- ストレージアレイが正しくセットアップおよび設定されている必要があります。
- ストレージアレイのパスワードは、System Managerの[アクセス管理]タイルを使用して設定する必要があります。

手順

1. [管理] ページで、 [* 追加 / 検出 *] を選択します。

   [Add/Discover]ダイアログボックスが表示されます。

2. [Discover a single storage array]オプションボタンを選択します。

3. ストレージアレイ内のいずれかのコントローラのIPアドレスを入力し、*検出の開始*をクリックします。

   指定したストレージアレイへのUnified Managerの接続には数分かかることがあります。

   指定したIPアドレスでコントローラに接続できない場合、「ストレージアレイにアクセスできません」というメッセージが表示されます。

4. プロンプトが表示されたら、自己署名証明書を解決します。

   検出プロセスでは、検出されたストレージアレイに信頼できるソースからの証明書があるかどうかが確認されます。ストレージアレイのデジタル証明書が見つからない場合は、認識された認証局（CA）によって署名されていない証明書を解決するためにセキュリティ例外を追加するように求められます。

5. 信頼されていない証明書があれば解決します。

   信頼されていない証明書は、ストレージアレイからUnified Managerへのセキュアな接続を確立しようとしたときに、接続がセキュアであることを確認できない場合に発生します。信頼されていない証明書を解決するには、信頼できる第三者機関から発行された認証局（CA）証明書をインポートします。

6. 「 * 次へ * 」をクリックします。
7. *オプション：*検出されたストレージアレイをグループに関連付けます。ドロップダウンリストから、ストレージアレイを関連付ける目的のグループを選択します。

   デフォルトでは「All」グループが選択されています。

8. 管理ドメインに追加するストレージアレイの管理者パスワードを入力し、* OK *をクリックします。

終了後

ストレージアレイがUnified Managerに追加され、指定した場合は選択したグループにも追加されます。

サポートデータの自動収集が有効になっている場合は、追加したストレージアレイのサポートデータが自動的に収集されます。

アレイの管理

ストレージアレイのステータスの表示

Unified Managerには、検出された各ストレージアレイのステータスが表示されます。

[* Manage-All*]ページに移動します。このページでは、Web Services Proxyとそのストレージアレイの間の接続のステータスを確認できます。

ステータスインジケータについては、次の表で説明します。

ステータス	を示します。
最適	ストレージアレイが最適な状態です。証明書の問題はなく、パスワードは有効です。

ステータス	を示します。
無効なパスワード	無効なストレージアレイパスワードが指定されました。
信頼されない証明書	HTTPS証明書が自己署名証明書でインポートされていないか、CA署名証明書でルート証明書と中間CA証明書がインポートされていないため、ストレージアレイとの1つ以上の接続が信頼されていません。
要注意	ストレージアレイにユーザによる修正が必要な問題があります。
ロックダウン	ストレージアレイがロックダウン状態です。
不明	ストレージアレイに一度も接続されていません。この状況は、Web Services Proxyが起動中でまだストレージアレイに接続していない場合や、ストレージアレイがオフラインでWeb Services Proxyの起動後に一度も接続されていない場合に発生します。
オフライン	Web Services Proxyは以前にストレージアレイに接続していましたが、現在はすべての接続が失われています。

個 々 のストレージアレイの管理

[起動]オプションを使用すると、管理処理を実行する場合に1つ以上のストレージアレイに対してブラウザベースのSystem Managerを開くことができます。

手順

1. [管理]ページで、管理するストレージアレイを1つ以上選択します。
2. [* 起動 *] をクリックします。

   新しいウィンドウが開き、System Managerのログインページが表示されます。

3. ユーザー名とパスワードを入力し、*ログイン*をクリックします。

ストレージアレイのパスワードの変更

Unified Managerでストレージアレイを表示したりアクセスしたりするために使用するパスワードを更新できます。

開始する前に

- Storage Adminの権限を含むユーザプロファイルでログインする必要があります。
- ストレージアレイの現在のパスワード（System Managerで設定されているパスワード）を確認しておく必要があります。

タスクの内容

このタスクでは、Unified Managerからストレージアレイにアクセスできるようにストレージアレイの現在のパスワードを入力します。これは、System Managerでアレイのパスワードが変更されたために、Unified

Managerでも変更が必要になった場合などに行います。

手順

1. 管理ページで、1つ以上のストレージアレイを選択します。
2. [メニュー]：[一般的でないタスク][ストレージアレイパスワードの入力]を選択します。
3. 各ストレージアレイのパスワードを入力し、*保存*をクリックします。

SANtricity Unified Managerからのストレージアレイの削除

Unified Managerで管理する必要がなくなったストレージアレイは、削除することができます。

タスクの内容

削除したストレージアレイにはアクセスできません。ただし、ブラウザでIPアドレスまたはホスト名を直接指定することで、削除したストレージアレイへの接続を確立できます。

ストレージアレイを削除しても、ストレージアレイやそのデータには影響しません。ストレージアレイを誤って削除した場合は、再度追加することができます。

手順

1. [* Manage *（管理）]ページを選択します。
2. 削除するストレージアレイを1つ以上選択します。
3. メニューから「Uncommon Tasks（一般的でないタスク）」を選択します。

   ストレージアレイがSANtricity Unified Managerのすべてのビューから削除されます。

著作権に関する情報

商標に関する情報